

若者からもらったいちばん美しい贈りもの

2007年、アメリカ、ベルフラワー市の聖ドメニコ・サヴィオ教会で、エクアドルの孤児たちのために働きたいという意志を初めて表明したときのことを思い出します。今、そのグアヤキルに来て8か月が過ぎ、人生の中で情熱を注げるものを見つけたと思っています。私の人生における大切な出来事を選ぶとしたら、この体験を選びます。

この体験は、私の世界観を変えました。貧困、飢え、発展途上国に見られる状況に目を見開かされ、より良い者になりたいという気持ち呼び覚ましてくれました。

初めは、家族や友人から遠く離れた見知らぬ国に行くのはとても不安でした。でも子どもたちを見たら、すべての躊躇は消えてしまいました。人生を変える経験になると人から言われても信じられなかったし、どれほどその言葉が真実か知るよしもありませんでした。無邪気な子どもが路上で寝ているのを見れば人生は変わってしまうし、その子どもが自分と一緒にオラトリオに戻ることを決心すれば、それは祝福の体験になります。ヴィンス君やエリックを連れて来たというだけでなく、神様を連れて来た、と感じるのです！

ここで過ごす毎日が、神様からの贈りものです。神への愛とは何なのか理解するのを助けてくれる日々に、感謝しきれないほどです。ここで学んだいちばん大切なことは、自分の持っているもの、それが靴や、お椀一杯のご飯であれ、自分の親であれ、確かなものだと思込んではいけないということです。残念ながら私は、こういったものすべてが確かなものだと思っていました。一年前、私の人生は下り坂を落ちていました。学校にも仕事にも、やりがいを見いだせずしていました。今、人生への新しい展望をもって、人を助けることを続けたいという新たな望みと動機を胸に、エクアドルを後にしようとしています。私の心の中で大きくなっているこの新しい動機は、子どもたちからもらうことのできた最良の贈りもので、お金では決して買えないものです。

それで、私は10年後の自分をどのように思い描いているのでしょうか？ 社会に何かを与え、人を助けることのできる自分です。働く場はエクアドルではないかもしれませんが、希望しているのは消防士として働くことです！

私のために祈り、この歩みを通して私のことを信じてくれたサレジオ会のブラザーや神父様たち皆に感謝します。彼らによって私は今の自分になるために助けられました。

ジョン・ガルシア 18歳

イスラム教徒の中で働く宣教師



ヴァツラフ・クレメンテ神父と西ヨーロッパ地域顧問
ホセ・ミゲル・ヌエス神父、モロッコの職業訓練センター
「アッサビル」の若者たちと。

私たちがここにいるのは、私たちが宣教師だからです。分かち合うべき信仰、知らせるべき福音があるからです。私たちの使命は、何よりも証しであり、私たちが生き活きと生かす信仰、私たちを支える希望、私たちが神から受け、すべての人と分かち合いたいと望む愛の証しです。

キリスト教徒も、改宗者も少ないからといって、私個人としては挫折感を抱いてはいません。私たちは「刈り取る」ためではなく、「種を蒔く」ためにここにいると私は確信しています。祈りを通して、私たちの学校での教育を通して、あるいは病院や診療所での私たちの存在を通して種を蒔きます……ここに暮らす人々と人生・生活を分かち合うことによって。

宣教の働きは、秘跡を受ける人の数や、ほかの同じような数値で計れるものではありません。神だけ

がそれを計ることができ、いつの日か私たちにおっしゃることができるでしょう。「私は希望に飢え、兄弟愛に満ちた社会、友情、愛、福音、神に飢えていた……そしてあなたが私のところに来てくれた……」するとある人は言うでしょう。「いつあなたに希望を差し上げたでしょうか。いつ慈しみ深い“みことば”をかけ、愛であられるという神の真理についてお話したでしょうか。より兄弟愛に満ちた社会への希望をもつように、いつあなたを助けたでしょうか。」そのとき、イエスは私たちに言われるでしょう。「この小さな者たち、この苦難の地に暮らす人々に行ったことは、私にしてくれたのだ。」だから私は思うのです。ここで働く司教や司祭は、大きな司牧の働きができないからといって、迷いを感じることはありません。彼らは証しするように、生活や活動を通して、すべての人を照らすあの光を反映させるように呼ばれているのです。……

大切なのは実りを集めることではなく、いつの日か実る福音の種を蒔くことです。……宣教は、イスラムの国にあっても“宣教”です。私たち宣教師は、私たちの働きに意味があり、この世というパンのパン種であることを理解し信じるために、それを見つめる信仰の眼鏡を必要としているのです。

ジブチ教区 ジョルジュ・ベルタン司教
(Popoli e Missione 誌、2009年3月号、p.52-53より)